

スポーツ OKAZAKI



Vol.29
2024.2.1

Do スポ岡崎!
スポーツ少年団活動紹介
岡崎スポーツコラム
その他



スポーツ振興くじ助成事業

Do スポ岡崎！ ★市内のスポーツ活動を紹介します★

スポーツ振興くじ助成事業 報告

おかざきマラソン

11月26日(日)、岡崎中央総合公園とその周辺道路において第55回おかざきマラソンを開催しました。約2000人のランナーは、秋晴れの空のもとゴールを目指して走りました。



小学生駅伝・ハーフリレーマラソン

12月17日(日)、岡崎市龍北総合運動場において第8回おかざき小学生駅伝競走大会・ハーフリレーマラソンを開催しました。参加者は12月の冷たい風にも負けず、仲間とタスキを繋いで走りました。



笑顔でゴール！(小学生駅伝)

優勝チーム

小学生駅伝

男子の部 ST
女子の部 TSM岡崎Z

ハーフリレーマラソン

男子の部 TPC天
女子の部 瑞陵高校
混合の部 ネシンデン



飛び賞 当選！

令和5年度スポーツ大学実技講習会 船水雄太プロソフトテニス教室

令和6年1月8日(月)、岡崎中央総合公園総合体育館においてソフトテニス教室を開催しました。

教室は小・中学生の部と高校・一般の部の2部制で実施し、総勢約120の方にご参加いただきました。講師としてプロソフトテニスプレイヤーの船水雄太選手とミスノ株式会社所属の九島一馬選手をお招きし、全体でストロークの指導を受けた後、ポジションごとに分かれて練習を行いました。また、船水・九島ペア対参加者代表によるミニ試合が行われ、参加者はプロ選手の手加減なしのプレーを間近で観戦しました。教室の最後には、船水プロから参加者へ「ソフトテニスを楽しむ気持ちを持ち続けて、練習に励んでほしい。」とメッセージをいただきました。



小・中学生の部



高校・一般の部

岡崎市スポーツ少年団 活動紹介

岡崎市スポーツ少年団は昭和46年3月に発足しました。各単位団の日常スポーツ活動はもちろん、本部活動にも力を注ぎ、他単位団とのつながりを深め、大きなスポーツの輪を広げています。本誌では各単位団の活動を順次紹介しています。興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

- 1 団体名
- 2 入団条件
- 3 団の特徴
- 4 児童からメッセージ
- 5 連絡先

1	花園こども空手教室スポーツ少年団
2	幼年～高校生の男女 月謝2,000円
3	「明るく・楽しく・元氣よく」空手を通じて心身の育成を心掛けています。
4	帯の色が変わったときはすごくうれしい。友達もたくさんできてとても楽しいです。
5	☎ 090-9949-5731 (志水)



1	LINK JVC
2	小学1年生～6年生の男女 月会費2,000円
3	「やるなら全力で!」ボールと気持ちを繋いで県大会出場を目指しています。
4	楽しいばかりではないけれど、強くなるためにみんなで心を燃やして頑張っています。
5	☎ 090-6610-1828 (尾崎)



1	福岡バドミントン少年団
2	小学3年生～6年生の男女 年会費5,000円
3	初心者の方も楽しめる練習を心掛けています。
4	友達とバドミントンをするのが楽しいです。
5	☎ 090-3932-0951 (青山)



1	羽根バレーボールクラブ
2	小学1年生～6年生の女子 月謝 小学1年生～3年生 500円 小学4年生～6年生 1,500円
3	「強く楽しく!」をモットーに、愛知県上位を目指して活動しています。
4	様々な学区のバレー大好きな子達が集まり、楽しく元気に活動しています!
5	☎ 090-9198-0704 (永谷) ✉ hane.volleyball.club@gmail.com (永谷)



1	幼児体育教室
2	年少児～年長児の男女 年会費16,000円
3	幼児の発達に応じた運動や遊びを通して、体を動かすことの楽しさや集団でのマナーやルールを知ることがモットーです。
4	大きいトランポリンはめっちゃ楽しい! 広い所で三輪車にいっぱい乗れて楽しい!
5	☎ 090-7029-3970 (加藤)



岡崎スポーツコラム 「親子で運動をするときの心得 part2」(全3回) 山下 晋

「子どもは個人差が大きい」
 子どもは同じ年齢でも、体の大きさや器官などの発育発達に大きな個人差があります。また、好奇心が旺盛で、なんでもすぐにやりたい子どももいれば、そうでない子どももいます。他の子どもと比べて「できない」「遅い」と嘆くのではなく、「昨日より〇〇が上手になった」とその子どもの伸びを評価してください。

「子どもは集中力が短いけど、楽しいことはくり返す」
 子どもから「やりたい」と言って始めた遊びでも、すぐにやめてしまうことがあります。これは子どもが飽きっぽいのではなく、1つのことをやり続ける「集中力」が大人と比べて短いのです。一方、子どもはうまくできなくても、楽しい遊びであれば、何度でもくり返します。運動が上手になるためには、子どもの「やりたい」というサインを見逃さず、「楽しく」「くり返し」取り組むようにしてください。

「一緒に遊んで、嬉しいことを共感しよう」
 親子で運動する中で、子どもができるようになったときは一緒に喜び、できなかったときは一緒に悔しがりましょう。そして、「どうしたらうまくできるか?」一緒に考えてみてください。遊ぶ時間を共有して、子どものできるようになりたいという気持ちに寄り添い、共感しましょう。

【略歴】
 体育学博士
 岡崎女子大学
 子ども教育学部 教授
 幼児期の運動能力と生活習慣、
 屋外の遊び環境について研究
 著書に「親子トレ」など